

記載例

申請者の現状(基本情報)

作成日	20XX年X月X日	受講者番号	999	受講者氏名	広島 花子
-----	-----------	-------	-----	-------	-------

1. 概要(支援経過・現状と課題等)

・20XX年1月、F特別支援学校高等部進路担当教諭より、高等部3年生の生徒の卒業後の進路について相談がある。  
 ・F特別支援学校高等部3年生、男性、自閉症、母親、進路担当教諭、就労・生活支援センター就労ワーカーが主にかかわっている。  
 ・特別支援学校高等部2年生から、卒業後の進路目標を一般就労として、校外実習(春2週間、秋4週間)を実施。主な実習先と作業内容はキノコを生産する工場でキノコの紙巻き、収穫作業、特別養護老人ホームで清掃作業を経験。実習においては、進路担当教諭と就業・生活支援センターの就労支援ワーカーが実習先を定期的に訪問しながら、取り組んできた結果、それぞれの作業の一通りの技術を獲得し、指示にもとづいた一定時間の仕事を取り組めるようになった。また、日常のあいさつ、困ったときは身近にいる職場のスタッフに質問をしたり、対応を依頼することができるようになった。聴覚刺激に過敏と思われる面があり、耳をふさいで仕事の持ち場から離れ、仕事の場に戻るための一定の時間と他者の支援を必要とすることから、卒業時点で実習先での就職は困難とのことで、本人が進路担当教諭と母親と見学を重ね、自宅から通えるE就労移行支援事業所の利用が具体的に検討されているところであった。E就労移行支援事業所からは利用の受け入れは可能との返答があったとのこと。  
 ・従来より、初めて行く場所や単独で行くことが不安な場所等に行く等に対して家族が付き添えない場合は、D居宅介護事業所の移動支援を利用したことがある。  
 ・20XX年1月より、サービス調整のための支援に入ることとなる。

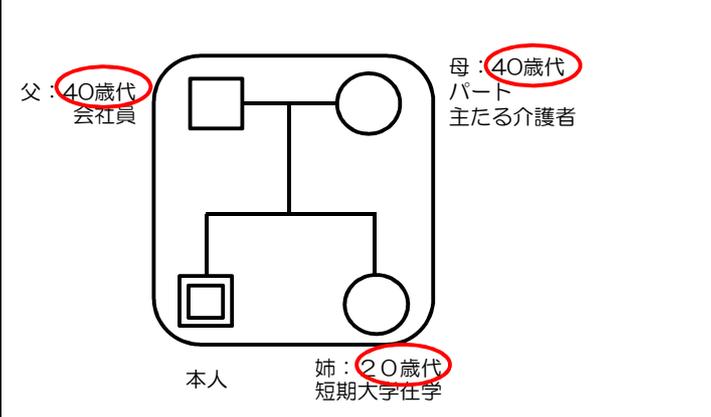
年齢は記入しない例)●●才、50才

2. 利用者の状況

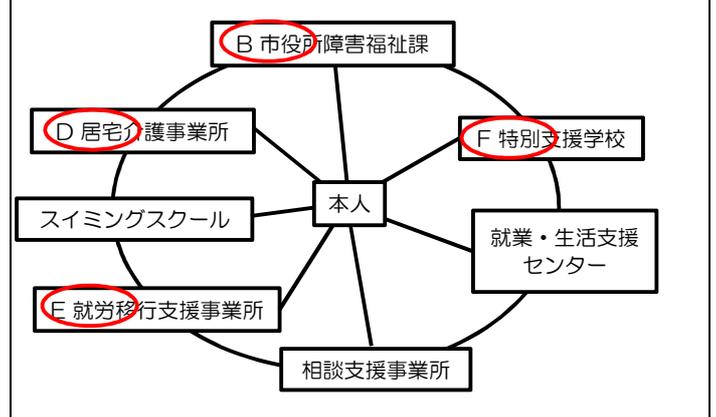
氏名	A. A	生年月日	19XX年X月XX日	年齢	10歳代
住所	B県 B市 C町		電話番号	XXX-XXX-XXXX	
	[持家・借家・グループホーム・入所施設・医療機関・その他( )]		FAX番号	XXX-XXX-XXXX	
障害または疾患名	自閉症	障害支援区分	区分3	性別	男 女

区は記入しない

家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入



社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等(役割)



生活歴 ※受診歴等含む

・19XX年X月XX日、3,200gで正常出産。1歳半検診で、言葉の遅れ、こだわり等が見られ、B市の療育教室に月2回参加。その中で保健師より医療受診をすすめられ、3歳で自閉症と診断された。その後、月2回のSTによるリハビリを受ける。年少になると、リハビリと並行して保育園へ通う。保育園では加配の保育士が卒園まで配置された。  
 ・就学相談によって、特別支援学校小学部に入学しスクールバスのバス停まで母親の送迎で通学をする。入学後、他友人の勧めで参加したスイミングスクールがきっかけで水泳への意欲が見られ、現在まで継続して意欲的に取り組んでいる。高等部になり、自宅から徒歩5分のスクールバスのバス停まで単独で通学するようになる。  
 ・家族関係も良好で両親の収入で経済的には安定した家庭である。

医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

特になし。  
 1年に一度療育センターを受診するのみ。

本人の主訴(意向・希望)

働ける力を身につけたい。就職したい。  
 好きな水泳を続けたい。スイミングスクールに通いたい。  
 スペシャルオリンピックに出たい。  
 特別支援学校の集まりは行きたい。

家族の主訴(意向・希望)

母: 就職できるようになってほしい。その中で一人で通勤ができるようになったり、お金の使い方がわかるようになったり・・・いろんな力をつけてほしい。好きな水泳は続けて欲しい。いろいろな人とのかわりや経験を積んで行って欲しい。

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援(障害福祉サービス、介護保険等)	移動支援	D居宅介護事業所	初めて行く場所などの確認や単独での外出が不安な場合の支援	サービス等利用計画に基づいて実施	
その他の支援					

記載例

申請者の現状(基本情報)【現在の生活】

利用者氏名	AA	障害支援区分	区分3	受講者番号	999
				受講者氏名	広島 花子

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での過ごし方は、自室で好きな雑誌を読んだり、ゲームをしたりして一人で過ごしている。</li> <li>・土、日・祝は、家族（主に母親）と買い物や外出をしている。</li> </ul>
8:00	バス通学	バス通学	バス通学	バス通学	バス通学	起床・朝食	起床・朝食	
10:00	特別支援学校	特別支援学校	特別支援学校	特別支援学校	特別支援学校	家族と過ごす	家族と過ごす	<p><b>週単位以外のサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての場所や不慣れな場所等に家族が付き添えない場合は、移動支援を利用したことがある。</li> </ul>
12:00								
14:00								
16:00	バス通学	バス通学	バス通学	バス通学	バス通学			
18:00	夕食							
20:00								
22:00	就寝							
0:00								
2:00								
4:00								

## 記載例

## サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案

利用者氏名(児童氏名)	A. A	障害支援区分	区分3	受講者番号	999
障害福祉サービス受給者証番号	987654321			受講者氏名	広島 花子
地域相談支援受給者証番号	なし	通所受給者証番号	なし		
計画案作成日	平成31年3月20日	モニタリング期間(開始年月)	1ヶ月ごと(平成31年4月～令和元年6月)	利用者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	早く就職できる力を身につけて、就職したい。 週末は、スイミングスクールに行きたい。スペシャルオリンピックスにも出たい。 今までのように家族と買い物や外出もしたい。特別支援学校の集まりに行きたい。 (家族の意向) 就職できるようになってほしい。自分で通勤したり、お金の使い方がわかるようになってほしい。好きな水泳は続けてほしい。いろいろな人とのかかわりや経験を積んで欲しい。
総合的な援助の方針	新しい生活スタイルに慣れ、スケジュールに基づいた生活を主体的に送る。 12ヶ月後に就職する。
長期目標	就労移行支援事業を利用しながら、仕事の技術の獲得、スケジュール管理、単独での通勤方法を身につけて、就職する。
短期目標	就労移行支援事業所とスイミングスクールを利用する生活に慣れる。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	就職できる力を身につけて、就職したい	就職に必要なことを整理して取り組む順番を決め、取り組む	3ヶ月	就労移行支援 月23日 月～金曜まで週5日通所(9:00～15:30) E 就労移行支援事業所	就労移行支援事業所まで一人で行くことに慣れる。	2ヶ月	暫定支給決定期間内にサービス担当者会議を実施する。
2	週末はスイミングスクールに行きたい	スイミングスクールに通えるよう支援を組む	12ヶ月	移動支援 月12時間 毎週土曜日(13:00～16:00) D 居宅介護事業所 スイミングスクール 月4回	家族とのスケジュールを確認して、移動支援の利用日を確認、調整する。	2ヶ月	定期的な移動支援の利用の経験の積み重ねを確認し、評価を実施する。
3	特別支援学校の集まりに行きたい	情報を集めて、自己選択と自己決定ができる状況を作る	12ヶ月	F 特別支援学校 不定期 行事予定による	学校からのお知らせを家族と確認し、スケジュールを確認、調整する。	6ヶ月	特別支援学校との連携を取る。
4							
5							
6							

記載例

(様式3-2)

サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案【週間計画表】

利用者氏名(児童氏名)	A. A	障害支援区分	区分3	受講者番号	999
障害福祉サービス受給者証番号	987654321	通所受給者証番号		受講者氏名	広島 花子
地域相談支援受給者証番号					

計画開始年月 平成31年4月1日

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での過ごし方は、自室で好きな雑誌を読んだり、ゲームをしたりして一人で過ごすことが定着している。</li> <li>・日・祝は、家族と買い物や外出を希望しており、主たる介護者である母親以外の父親や姉も対応が可能。スケジュールの急な変更は混乱するが、対応者の急な変更に対しての混乱はない。</li> </ul>
8:00	送迎車	送迎車	送迎車	送迎車	送迎車	起床・朝食	起床・朝食	
10:00	就労移行支援事業所	就労移行支援事業所	就労移行支援事業所	就労移行支援事業所	就労移行支援事業所	移動支援	家族と過ごす	<p>週単位以外のサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校の集まり(不定期)には参加したいという希望がある。</li> </ul>
12:00								
14:00								
16:00	送迎車	送迎車	送迎車	送迎車	送迎車			
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
20:00								
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
0:00								
2:00								
4:00								

サービス提供によって実現する生活の全体像

- ・就職を目指すという現時点での到達目標からF就労移行支援事業所の利用とし、就職に必要なことをひとつひとつ積み重ねていくこととする。
- ・特別支援学校卒業後、通所方法、生活スタイル、環境など多くの変更があるため、生活スタイルの構築を優先したかわりを導入として、獲得のプロセスを整理することで、就職の際の職場への移行につなげることができる。
- ・余暇においても、家族とのかかわりや目的地だけでなく、移動支援を利用してスイミングスクールに通うことで、幅を広げ、様々な経験の積み重ねが考えられる。
- ・就職に結びつけるために必要な就業能力、そして社会生活力を高めていき、自立生活を目指し、積み重ねができる日常生活が送れると思われる。